



国土交通省 XRAIN XMP 一次処理データ

1. 識別情報

名称	国土交通省 XRAIN XMP 一次処理データ
メタデータID	MLIT_XRAIN_intermediated20230727084302-DIAS20221121113753-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室
組織名	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室
電子メールアドレス	hqt-dias@gxb.mlit.go.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

2.2.1 データ統合・解析システム

名前	DIAS事務局
組織名	国立研究開発法人海洋研究開発機構
住所	日本, 236-0001, 神奈川県, 横浜市, 金沢区昭和町3173番25
電子メールアドレス	dias-office@diasjp.net

3. ドキュメント作成者

名前	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室
組織名	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室

4. データ作成者

名前	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室
組織名	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室

5. ドキュメント作成年月日

2023-07-27

6. データ作成年月日

publication : 2010-07-05

7. データセット概要

7.1 序論

MLIT_XRAIN_intermediatedは、Rawデータに対しデータ処理（一次処理）を行って算出されたデータであり、以下の5種類を公開している。

偏波間位相差変化率(KDP)、

減衰補正済み水平偏波のレーダ反射強度(Zh)、

レーダ反射因子差(Zdr)、

降雨強度(Rr)、

品質管理情報(QF)

なお、現在公開しているのはXバンドMPレーダの一次処理データのみであり、CバンドMPレーダの一次処理データは含まれていない。データ形式の詳細については、「国土交通省Xバンドレーダ雨量計観測データ共通フォーマット仕様書」を参照されたい。XRAIN オリジナルデータダウンロードシステムから入手可能である。

XRAIN、合成レーダ雨量については一般財団法人河川情報センターのWebサイトにある「実務技術者のためのレーダ雨量計講座」を参照されたい。URLは下部の「オンライン情報」に記載されている。

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

climatologyMeteorologyAtmosphere

7.3 時間情報

開始日	2010-07-05
終了日	継続中

7.4 地理的範囲

北限緯度	43.922222
西限経度	129.550000
東限経度	142.570833
南限緯度	30.833333

7.5 グリッド

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	Atmosphere > Precipitation	GCMD_science

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.7.2.1 データ統合・解析システム

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
theme	DIAS > Data Integration and Analysis System	No_Dictionary

7.8 データセットに関するオンライン情報

一般財団法人河川情報センター「実務技術者のためのレーダ雨量計講座」 : <http://www.river.or.jp/jigyo/radar/314.html>

7.9 データ周辺情報

一迫レーダ観測所は撤去のため2015年12月14日以降のデータが存在しません 一関レーダ観測所は撤去のため2017年2月13日以降のデータが存在しません 2018年7月9日から次の3地点追加されました。 1. 鷹巣局レーダ観測所 (秋田県) : XバンドMPレーダ 2. 明神山レーダ観測所 (愛媛県) : CバンドMPレーダ 3. 八本木山レーダ観測所 (長崎県) : CバンドMPレーダ 2020年10月27日から次の1地点追加されました。 1. 函岳レーダ観測所 (北海道) : CバンドMPレーダ 2021年1月24日から次の地点が追加されました。 1. 宝達山レーダ観測所 (北陸) : CバンドMPレーダ 2022年8月29日から次の地点が追加されました。 1. 霧裏山レーダ観測所 (北海道) : CバンドMPレーダ

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
-------	---------	----------

8. 系譜情報

8.1 データ処理 (1)

8.1.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

8.1.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明
-----------	--------------

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

1. 本データは、研究及び教育の目的のみに利用し、営利をはじめ、申請書に記載した利用目的以外に利用しないこと。

2. 本データを使用する研究グループの責任者の氏名・所属・連絡先及び利用目的を明らかにすること。特段な事情が無い限り、利用期間は原則 3 年以内とする。ただし、利用規約に違反している事が確認された場合等は利用期間に関わらず、利用の停止を行うことがある。

3. 本データの利用期間終了または利用の停止の措置の後、本データの利用を停止し、本データは速やかに破棄すること。ただし、本データを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等の根拠としての保管は、その限りではない。

4. 本データの内容を改変しないこと。

5. 本データを研究グループ以外の第三者に提供しないこと。

6. 本データを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行った場合は、公表物の写し（論文の場合は別刷り、口頭・ポスター発表の場合は講演要旨のコピー）を下記の連絡・送付先に提出すること。

●連絡・送付先

〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 中央合同庁舎 3 号館

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室宛

Email: hqt-dias@gxb.mlit.go.jp

また、プロジェクトデータ利用規約が定める連絡・送付先にも提出すること。

7. 本データを利用した成果物（6.によりデータ提供者に提出した資料）の内容に係るデータ提供者からの問い合わせに協力すること。

【免責事項】

1. データ提供者は、利用者が本データを利用することによって生じる、いかなる損害についても責任を負わない。

2. データ提供者は、予告なしにデータの提供を中止することがある。

3. データ提供者は、提供したデータに関する処理・解析作業についてサポートしない。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

10.2.1 データ統合・解析システム

データ提供者がデータ利用規約を定めていない場合は、DIASサービス利用規約 (<https://diasjp.net/terms/>) およびDIASプライバシーポリシー (<https://diasjp.net/privacy/>) が適用されます。

DIASサービス利用規約とデータ提供者によるデータ利用規約に齟齬がある場合は、データ提供者によるデータ利用規約が優先して適用されます。

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

本データを利用した学会発表・論文発表・誌上発表・報告等を行う場合は、これを利用した旨を明記すること（下記の「引用例」参照）。

●引用例

“利用したXRAINデータは、国土交通省より提供されたものである”

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

12.2.1 データ統合・解析システム

このデータセットを利用して学会発表，論文発表，誌上发表，報告などを行う場合は，以下を参考に謝辞を記載すること。また，データ提供者が示す謝辞の記載方法がある場合は，それも併記すること。

“本研究では、[データ提供者の名称]が提供する[データセットの名称]を利用した。またこのデータセットは、文部科学省の補助事業により開発・運用されているデータ統合解析システム(DIAS)の下で、収集・提供されたものである。”

13. 参考文献